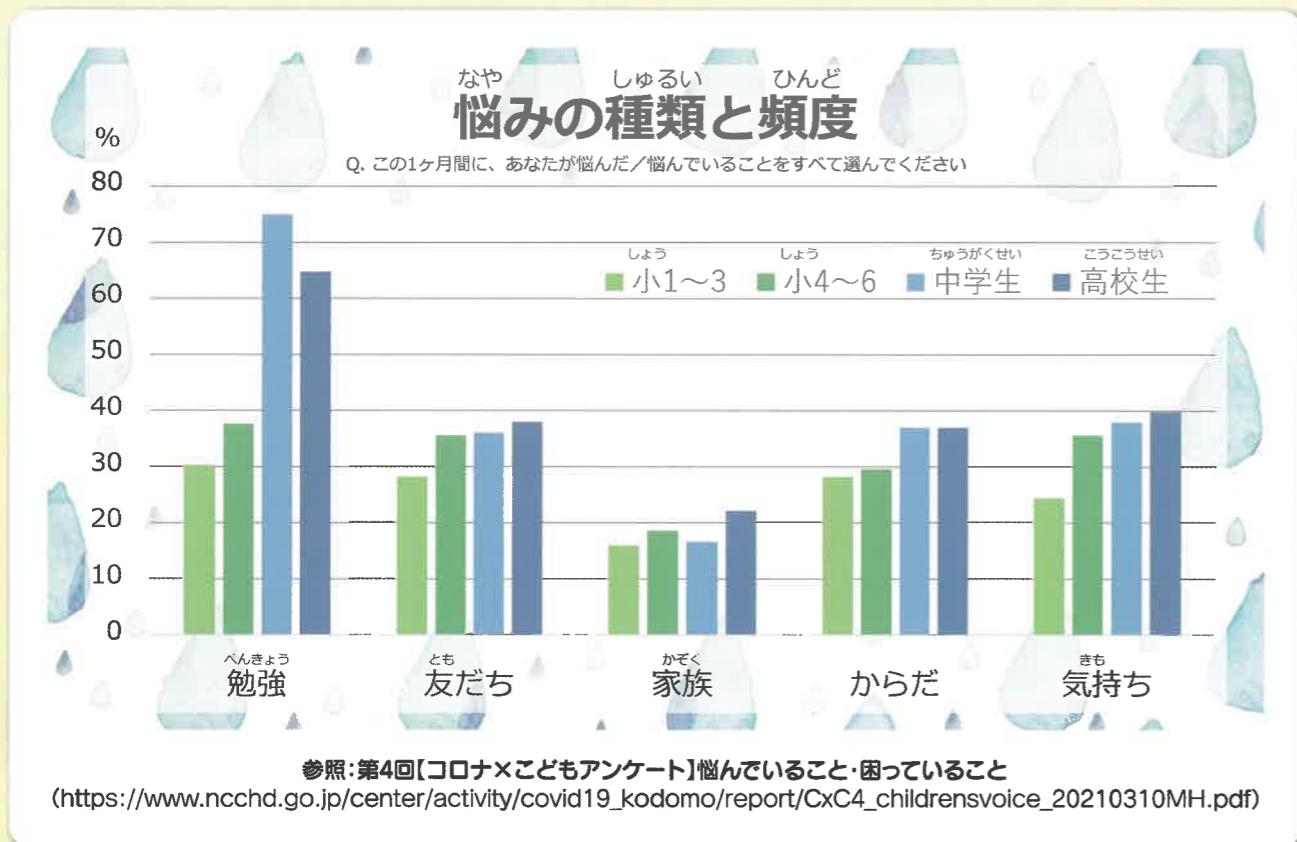


コロナ禍、大人も子どもたちも大変な状況が続きますね。こんな時だからこそ大人は子どもたちの生活とこころの様子を知り、これまで以上に子どもに寄り添っていきましょう。

国立成育医療センターが、「コロナ×こどもアンケート調査報告書」の結果を報告していますので、1つご紹介します。



この他にも生活習慣、睡眠など多方面から詳しく調査しています。あなたの子どもさんはいかがでしょう。

コロナ×こどもアンケート調査報告一覧

https://www.ncchd.go.jp/center/activity/covid19_kodomo/report/



子育て中の「こまったな!」「どうすればいいの?」を地域子育て支援コーディネーターに相談してみませんか

こんなときはまかせてね!

どこに相談したらよいか分からない…
近くに頼ることができる人がいない
子育てに疲れて「イライラ」話を聞いてほしい
どんな子育てサービスが利用できるか知りたい



利用者支援事業相談窓口

相談者と一緒に考え、皆様の気持ちや生活に寄り添っていく役割を担います。
内容に応じて子育て関連機関に繋がります。
また、紹介先に同行することも可能です。



ほのほの



子育てがんばっています!

朝から晩まで賑やかな兵頭家です。
元気な子どもたちからパワーをもらって、今日も子育て頑張っています。
姉弟仲良く、ステキな大人になってね♡

祖母: 兵頭 和恵 父母: 兵頭 幸一、裕美
子ども: 奏南、楓菜、里李夏、燈 (上三谷)

あなたの話しやすい方法で話せます。相談時間は事前予約ができます。(月～金曜日 年末年始を除く 9時から15時30分)

- ★電話相談 089-982-1119 (直通電話) 伊予市役所子育て支援課
- ★相談室で相談 伊予市役所内相談室でゆっくり相談できます。
- ★子ども総合センター 伊予市総合保健福祉センター2階 089-989-6226
- ★出張相談 ●伊予市児童センター「みんくる」 ●子育て支援拠点「あおぞら」 ●伊予市児童館「あすなろ」

連絡先

伊予市家庭教育・子育てサポートグループ

☎ 982-5155

FAX.982-5156
〒799-3193 伊予市米湊820 (伊予市教育委員会 社会教育課内)

伊予市の子育て支援を目指して

伊予市家庭教育・子育てサポートグループ

講座や座談会
学習会の開催

情報誌
「ほのぼの」
の発行

親子で遊び
楽しい活動

子育てに
関する相談

家庭への提言

- 1 子どもの良さを見つけ、子どもに自信を持たせましょう。
- 2 親は、子どもに「してはいけないこと」を、責任を持って教えましょう。
- 3 家族の一員としての役割を子どもに持たせましょう。
- 4 月に一度、家族みんなで「家族会議」を開いてはどうですか。

家庭は教育の原点

家庭は子どもの人格形成を担う場です。親の責任を自覚し、生きるために必要な知識や技術、社会のマナーを子どもたちに伝えていくことはもちろんのこと、家族の深い愛情と、時には厳しさをもって思いやりの心を育み、人として正しく生きていくための基礎的な資質と能力を培いましょう。そのためには、家族の絆を大切に生活することを心がけましょう。

- 1 朝、必ず親にあいさつを
- 2 呼ばれたら「ハイ」とはっきり返事を
- 3 履物を脱いだら必ずそろえる

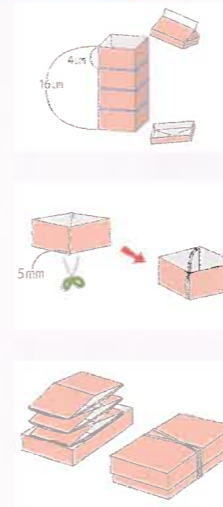
森信三「しつけの根本原則」から

親子で 作って遊ぼう No.1

箱を開けると牛乳パックがワ〜ッと飛び出します。
作って楽しい、遊んで楽しいおもちゃで、子どもとの工作の時間を楽しんでくださいね。

- 材 料**
- ① 牛乳パック(1000ml)
 - ② 輪ゴム
 - ③ はさみ、またはカッター
 - ④ 空き箱(おかしなどの空箱などフタのあるもの)

作り方



- ① 牛乳パックの、屋根(やね)と底(そこ)を切り取ります。箱を平らにしてから4cmの幅(はば)で4つに切ります。
- ② むかいあった2カ所の角に、上下5mmずつ切り込みをいれ、輪ゴムをはさみます。
- ③ 輪ゴムがばねになるようにおさえながらたたみ、たくさん重ねて箱の中にそっとつめてフタをします。
- ④ フタをあけると中身がとびだします。



参考:雪印メグミルク株式会社 牛乳パックでつくろう! 002「びっくり箱」 <https://www.meg-snow.com/fun/make/craft/craft02.html>
(ほのぼのに掲載している作り方は、手順を一部簡略化しています)



ちょっと子育て ~伊予市子ども総合センターからのお話~

伊予市子ども総合センターでは、子どもとその保護者を対象に様々な相談や支援を行っています。「会う」ことを大事にしており、近所のお節介な人になることが仕事と、温かい笑顔でお話をしてくださいました。いつの時代も悩みは様々で、いっぱいいっぱい余裕がない、ストレス、相談相手がない、など誰もが経験ある悩みにうなずくばかり。お話を伺い、聞いてもらう中、ずっと心が軽くなるのを感じました。頑張りすぎず、気持ちをゆったりさせ、自分も子どもも、ありのまま「大好き」と認めてあげたいですね。

「大好き」の魔法

イヤイヤ期ぐらいからお家でも園でも扱いに困っていたA君が、学年が上がってすっかり落ち着いて生活しているのに先日気づき、担任の先生に聞いてみました。お母さんに、1日の終わりにA君大好きと言ってギュッと抱きあげてください、とお願いしたのです。とのことでした。家にいることが多くなり、注意することや気になることが増えたと思いますが、お母さんは、1日の終わりに「今日は~だったね。」A君大好き。」と言ってギュッと抱きしめることを実行して下さったのでした。本人の成長もあるのですが、アドバイスをすぐに実行して下さったお母さん、それを言ってあげられる先生に拍手を送りたいです。また、「大好き」という言葉には魔法のような力があるのかもしれないね。



こども総合センターだより
明日もしあわせ通信(第52号)
令和2年10月号から